

認定こども園さくら保育園 園訪問報告書

対象施設	認定こども園さくら保育園
実施日時	令和4年10月31日（月）午前10時00分～午後2時15分
実施者	重尾 知美、山平 由香、吉田 祐一

実地指導内容

指摘した事項は以下のとおり

- ・子どもの手が届く位置にあるコンセントにカバー等がないため、感電防止策を行うこと。
- ・消火器や避難はしご付近に物を置かないこと。
- ・粉ミルクは賞味期限が切れているものは破棄すること。
- ・アレルギー対応マニュアルを整備すること。
- ・1階保育室の掃き出し窓について、子どもの手の届かない位置に鍵をつけるなどの対策を講じること。

前回の訪問で指摘した事項のうち、改善されていない点があったので、再度助言を行った。

保育見学

発熱・RSウイルス・腹痛等のため11名欠席。戸外遊びや生活の場面を見学。運動会後の運動遊びが継続しており、4歳児は鉄棒に自ら取り組み、何度も繰り返し挑戦する姿があった。保育士は温かくその意欲を認め、励ましの言葉をかけ、できたときは共に喜ぶかわわりをしていた。砂場では少人数でゆったりと遊んでおり、保育士を介して友だちとやりとりする様子が見られた。総合遊具では見守りが必要な個所に保育士が立ち、とっさの時に対応できるように配慮していた。遊び後の手洗い・トイレ・着替え等は職員が連携しながら行っており、最後の児童まで確認したうえで、次の活動に移るようにしている。誕生会が行われており、その様子はホワイトボードで迎えに来た保護者の目に留まるよう事務室付近に掲示されており、園での様子が保護者に伝わるような配慮がされている。園内には児童がつくった製作物が季節ごとに展示されており、画一的でなく、一人ひとり違う色使いや形を選択しながら製作を楽しんでいることが感じられた。

園長からの聞き取り

- ・体力をつけ、体幹を育てるために散歩など歩く経験をたくさんさせたり、運動遊具を購入し運動遊びの時間をとったりしている。また、器楽や絵画なども経験させたいが、行事ごとの単発の取組みで終わっており、継続的な取組みは今後の課題である。
- ・2階教材室兼図書室は図書室部分を地域に開放したいが、本の数や教材の整頓が未整備なので、整えていく予定。
- ・10月より看護師を採用し、園内の保健業務にあたっている。

対象施設	認定こども園さくら保育園
実施日時	令和5年1月30日（月）午前10時00分～11時30分
実施者	重尾 知美、山平 由香

実地指導（R4.10.31実施）で指摘した事項について確認

確認した事項は以下のとおり。

- ・子どもの手が届く位置にあるコンセントの感電防止策について。
→子どもが手を触れられないように物を置いたり、職員が子どもの動きを常に見て危険な行動を未然に予防したりすることで対応済みとのこと。
- ・消火器や避難はしご付近に物を置いていることについて。→対応中。
- ・粉ミルクの適正管理について。
→現在ミルクを飲む園児がいないが、使用する際は賞味期限等気を付けるとのこと。
- ・アレルギー対応マニュアルの整備について。→整備済み。マニュアル確認済み。
- ・1階保育室の掃き出し窓の施錠について。
→2歳児保育室（備品設置により子どもが近付けない）以外は子どもの手の届かない位置に鍵をつけた。

保育見学（各クラスの活動の様子を見学）

《0歳児》

遊戯室で遊んだ後、保育室に戻る場面。保育士が優しく促しながら移動させるなど、一人ひとりに丁寧に対応している様子が見られた。

《1歳児》

朝の会の後、製作。数人ずつ保育者がつき、自由にパスで描く姿を見守りながら、肯定的な声かけをしていた。

《2歳児》

好きな遊びの後、遊戯室にて劇遊びの取組み。保育室で保育者が子どもの行動を止めようとする際、腕を引っ張る行動が複数回見られたので、改善するように伝えた。

《3歳児》

絵本の読み聞かせ。インフルエンザ等で半数以上が欠席ということもあり、ゆったりとした雰囲気でも過ごしていた。

《4歳児》

製作へ取りかかる場面。担任以外の保育者が代わりに保育していたが、声かけが素晴らしく、子どもたちが落ち着いて行動できていた。

全体的に、子どものペースに合わせた保育がされている。肯定的に受け入れる姿勢があるので、子どもがのびのび過ごしている雰囲気を感じる。また、手作りおもちゃで楽しそうに遊ぶ姿があり、子どもの興味関心に沿った環境が整備されている。保育者の話し方は、子どもが聞こうとするような抑揚のつけ方や声の大きさの工夫があり、保育技術を実践の中で高めているように感じられた。

園長からの聞き取り

- 今年度の成果として、「遊び」について園内研修を行い、「就学前期の遊び」について職員で共通理解できつつある。1年間の学びを確認するために、1月から2月にかけて各クラスで園内研を行い、保育を公開する。
- 現在の困りごととして下記の点がある。
 - ①保育士の求人をしても、通勤の大変さから採用につながらないことが多い。
 - ②定員割れを起こしている。
 - ③外国から移住の保護者について、母親の方は日本語による意思疎通ができず通訳が必要だが、保育の制度上、支援の仕組みがなく、園での対応に苦慮している。
- 確認会議では園に来ていただき、実際の保育の様子や環境を確認してもらいたい。